

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 ひっぽファミリー

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	活動によっては狭いと感じる時がある。机を移動させての活動をしている。	机等の移動で対応はしているが、活動の種類によって、エリア分けをしていくようにしていきたい。また、下に敷いているマットの色を分けてみて、見てわかるようにしていきたいと思っています。
	2 職員の配置数は適切である	4	1		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	室内は段差は少なくフラットになっている。エントランスに階段がある。児童の上り下りの時は、スタッフが手を繋ぐ又は、手すりをもってゆっくり慌てず行動してもらうように心がけてい	玄関のエントランスは雨が降ると、滑ってしまうことがあり、『走らない、慌てない』の声掛けを児童、スタッフに関わらず行っています。怪我や事故のないように気を付けるようにしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部で行われている研修にスタッフが順番に参加してもらい、各事業所に持ち帰り、受けたスタッフが、他スタッフにレクチャーをしてもらっている。	非常勤・常勤に関わらず、各々のスキルアップのため、研修には受けていただくようにしています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	4か月に1回は保護者の方と面談をして、日常の様子やニーズを聞き取るようにしている。	児童や保護者の方からのご要望を正しく聞き取りが出来るように、保護者の方と密にかかわれるような関係性を築いていけるように取り組んでいきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	スタッフ間で話し合っ活動内容は決めている。	常勤・非常勤、関係なくプログラムの提案をしてもらい、意見を出し合っ決めています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	曜日での固定はしているが、月ごとにシャッフルしている。	出来るだけ飽きがないように、児童の取り組みの様子を観察して、プログラムの変更を行うようにしていきたいと思っています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	送迎業務が始まる前や前日に時間を取るようにしている。送迎遅れ等の時は翌日行っい	長期休み等、朝から児童の利用があるときは、事前の話し合いが出来ないこともあります。できるだけ、少しの空き時間でも良いので、スタッフ間での話し合いやコミュニケーションの時間を作っしていきたいと思っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	何でも話がしやすい雰囲気作りは心掛けていっ。送迎遅れ等の時は翌日行っい	その日の出来事、児童の様子、保護者からの伝言など業務連絡lineに入れて共有できるようにしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1		
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達管理責任者が参加し、他事業所やサービスの方との意見交換に取り組んでい	今は児童発達管理責任者のみの参加にしているが、今後は他スタッフも一緒に参加してもらい経験を積んでもらい、スタッフ育成にも繋げていきたいと思っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	送迎時に、担当の先生とお話する機会を増やし、学校での様子や悩みをお聞きし、児童の情報共有を行っている	送迎時になると、短い時間になるので、学校の先生にデイに見学に来てもらい、デイでの様子を見てもらう機会を作りました。次は、デイから学校の方に見学に行く機会を作っていけたらと考えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	医療的ケアが必要な児童がいまのところいません。	医療的ケア(喀痰吸引等)できるスタッフが少ないことあるので、準備として、順番にスタッフに研修を受けに行ってもらおうと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	児童発達支援事業所からの引継ぎを行い、保護者を通して情報共有を行っている。	全施設で出来ているところと出来ていないところがあります。今後は利用する前に保護者を含み就学前に利用していた各施設等と情報共有が出来る場を作っていきたいと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	引継ぎは、保護者の方を通して、伝えてもらっている。	今後は、情報の提供の場を作っていけたらと思っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	児童達の当日の状態にもよるので難しい	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	2か月に1度、障がい児部会に参加している。	今年度は、部会長となり部会内の意見をまとめたり、他事業所との関わりが多くとることが出来ました。今後も積極的に部会への参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	送迎時に保護者の方とお話をしたり、4か月に1回の面談時に日常や学校での様子を聞き取りをしている。	送迎時にお話しきれないことを面談の中でお話をしたりして、保護者の方への理解や悩みの解消に繋げていくことが出来ています。今後も、保護者の方との繋がりを大切に、一緒に子どもたちへの課題に達成に努めていきたいと考えています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	保護者向けのアンガーマネジメント研修を行っている。	アンガーマネジメント以外の研修も行っていきたいと考えています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	通所児童の保護者の会(あゆみらいず)を紹介して場所の提供等を行っています。	保護者会の設立をしていきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	苦情等の報告書を記入し、同様のことが起こらないように気を付けている。	苦情等があれば、各スタッフに伝達をし、共有していただけるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	『ひっぽだより』を月に1回発行しており、その中で日頃の子供たちの活動を写真でお知らせしている。	今後も子どもたちの良い表情が伝わるようなひっぽだよりを作成していきたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	1日/週:近隣周辺の清掃を行っている。	児童のその日の状態もあるので難しい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	毎月第1土曜日にスタッフと子どもたちで避難訓練をしている。避難場所の昭和中学校前までの避難の練習をしている。	昭和中学校にご挨拶をし、災害時にはデイの子どもたちと避難をすることをお伝えはしました。今後は、避難場所として利用する体育館等、校内の出来るか等、学校と話し合いをし、連携を取っていけたらと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待防止・身体拘束委員会を立ち上げている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	現在は、身体拘束等、必要なお子様はいません。	もし必要となれば、保護者の方へ了承をいただくとともに、個別支援計画書に必要な理由を記入していくようにしたいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		